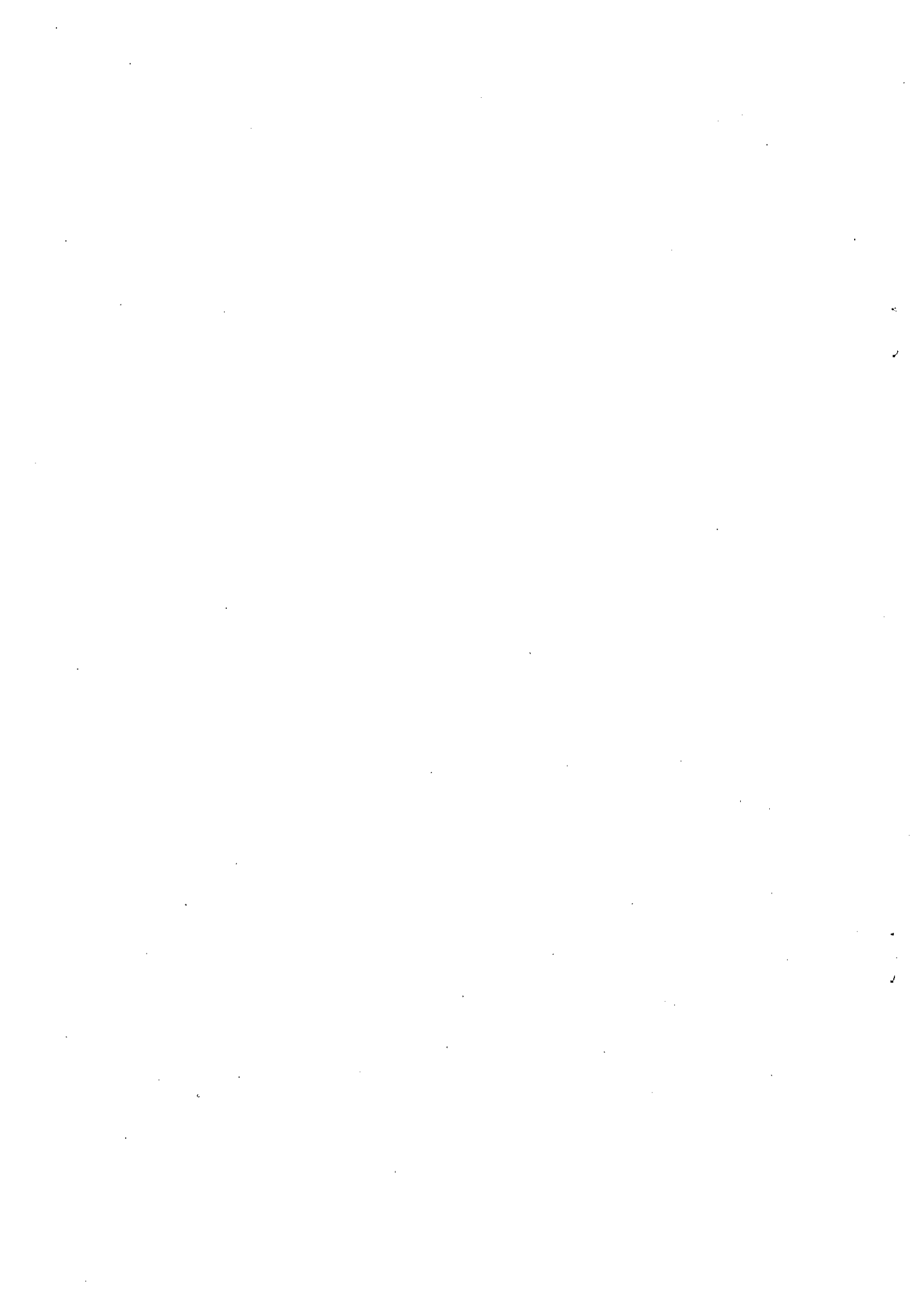


農林水産商工常任委員会資料

(平成28年8月19日)

項目	ページ
1 「とっとり産業技術フェア2016」の開催について 【産業振興課】……………1	1
2 第6回北東アジア産業技術フォーラムの開催について 【産業振興課】……………2	2
3 とつとりとプロジェクト2016の開始について 【企業支援課】……………3	3
4 鳥取県とロシア沿海地方との友好交流25周年記念事業（経済関係）に ついて 【通商物流課・販路拡大・輸出促進課】……………4	4
5 インテリジェントICTセミナーの開催について 【労働政策課】……………7	7
6 企業版ふるさと納税の対象事業の決定（平成28年度第1回）について 【就業支援課】……………8	8

商工労働部



「とっとり産業技術フェア2016」の開催について

平成28年8月19日
産業振興課

鳥取県の優れた産業技術への興味や関心を高め県内企業の魅力を広く認知させることを目的として、「とっとり産業技術フェア2016」を下記のとおり開催します。今話題のドローンをはじめ、さまざまな先端技術を来場者の皆様に見て、触れて、楽しんでいただく体験型イベントとしています。

- 1 日時 平成28年8月28日(日) 午前10時～午後4時
- 2 場所 米子コンベンションセンター 多目的ホール 米子市末広町294 (入場無料)
- 3 来場者(予定) 3,000名程度 (H27年度実績: 2,100名)
- 4 内容 43企業・団体(60ブース)による技術や製品の展示・実演など
 - ・無人航空機(ドローン)の実演飛行や操縦体験、人の感情を認識するロボット「Pepper(ペッパー)」との交流、介護用ロボットスーツの試着など、今話題の先端技術の体験コーナーの設置
 - ・県内ものづくり企業により開発された各種製品や独自技術の展示・実演
 - ・食品企業の新商品や独自技術(氷温技術等)による食品などの試食・販売
 - ・出展企業の製品等が抽選で当たるスタンプラリーの開催 等

[出展企業・団体の展示内容等]

分類	出展企業・団体名	展示内容
食品 (13)	(株) サングルメ	デザート類、シニア向けやわらか食
	プリリアントアソシエイツ(株)	ピンク華麗(レトルトカレー)、ピンク醤油等
	(有) ルウ研究所	高純度液体コラーゲン、化粧品 等
	(有) カンダ技工	鳥取県産竹炭の食品への有効活用品
	大山ハム(株)	新商品「3つ星サラダバル」の試食
	(株) 丸綜	天然本まぐろ魚醤
	(株) 米吾	吾左衛門鮓「鯖」
	おしどり調剤薬局(有)	生姜パウダー、生きた植物性乳酸菌入りおからパウダー
	(公社) 氷温協会	県内企業にて開発された氷温食品 等
	すなば珈琲	「すなば珈琲」の販売
	マルサンアイ鳥取(株)	自社製の豆乳飲料
	(株) 源 吉兆庵	季節の和菓子 等
	弓ヶ浜水産(株)	境港サーモン養殖事業の紹介
生活・ 環境 (9)	(株) 大協組	環境にやさしい山羊・ひつじ除草の紹介 等
	タングルウッド(株)	ゼリーのように柔らかい石鹸やシャンプー 等
	V・TEC(株)	智頭杉を使用したLED照明
	(有) ホームケア渡部建築	福祉機器、介護ロボット(卓上対話支援システム 等)
	(株) abaris	最先端電解微酸性次亜塩素酸水を使った室内無菌化の実演
	(株) コーセン	「大山おにさび砂利」の活用事例紹介
	(有) 片山電機	LED美術館用直管照明、LED透明ディスプレイ
	(株) きさらぎ 伯事業部	有機栽培の伯州綿を使った製品
	(株) エナテクス	太陽を追尾する「エナトラッキングシステム」
製造・ ICT (14)	(株) 日本マイクロシステム	日曜大工設計を行うパソコンソフト 等
	気高電機(株)	OEM家電製品、自社開発製品
	(株) エッグ	ロボット・ペッパー、就活サポートシステムの紹介 等
	(株) ケイズ	最新の技術を使った体験型ゲーム
	ファミリーイナダ(株)	メディカルチェア「イナダインスパイア」
	郡家コンクリート工業(株)	手形・足形などのコンクリート製品作り体験
	(株) 大晃工業	LED車両誘導灯「ポストデリニエーター」
	(株) イルカカレッジ	ゲルパック消火剤、プラズマローゲンEX 等
	(有) サンパック	サシバ工駆除装置「モウ安心」 等
	(株) ジーアイシー	離床・起床検知センサーの体験
	アイコンヤマト(株)	ドローン(UAV)、IP-S2(車載型移動計測システム)
	(有) トータルフィット	ドローンの展示・デモンストレーション飛行
	(株) イナテック鳥取	自動車部品レクサスLFAのミッションケース
	(株) テムザック技術研究所	医療用ロボット試作機のデモンストレーション
特別出展	大和ハウス(株) ロボット事業推進部	介護用ロボットスーツの体験

上記のほか、米子工業高等専門学校、(地独)鳥取県産業技術センター等の参加を予定しています。

第6回北東アジア産業技術フォーラムの開催について

平成28年8月19日
産業振興課

鳥取県、中国吉林省及び韓国江原道が産業技術分野での交流を行うことにより、3地域の産業振興に寄与することを目的に「第6回北東アジア産業技術フォーラム」を下記のとおり開催いたします。

なお、本フォーラムは、平成20年に江原道春川市で第1回を開催して以来、各地域持ち回りとしており、今回は鳥取県開催となります。

記

1 第6回北東アジア産業技術フォーラム概要

(1) 開催日時：平成28年9月5日（月） 午後1時～5時

(2) 会場：米子コンベンションセンター 国際会議室（米子市末広町294）

(3) 参加者：100名（予定）（吉林省6名、江原道12名含む）

※来場者は県内の行政、学術機関、研究機関、企業等。

(4) 内容：

【基調講演】各地域の産業・技術動向と施策等を紹介（吉林省、江原道、鳥取県）

【研究発表】テーマ：「新素材」、「各地域の特色ある分野」

〔吉林省〕「高分子材料乳酸ポリマーの産業化開発及び応用」他3本

〔江原道〕「豚の肺から抽出した天然のホスホリピッドのアトピー治療剤技術」他2本

＜鳥取県発表内容 3本＞

・「カニ殻由来の新素材「マリンナノファイバー」の基礎と応用」（新素材）

講演者 鳥取大学工学部大学院工学研究科 伊福伸介 准教授

・「粘土鉱物を活用した資源リサイクル吸着材」（特色ある分野）

講演者 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター

機械素材研究所 田中俊行 研究員

・「医工連携による医療・福祉機器開発の挑戦」（特色ある分野）

講演者1 鳥取大学附属病院次世代高度医療推進センター

産業化臨床研究部門長 古賀敦朗 特命准教授

講演者2 株式会社テムザック技術研究所 檜山康明 代表取締役社長

2 北東アジア産業技術フォーラム開催経緯等について

(1) 経緯

平成18年の地方政府サミットで先端科学技術交流が必要という合意に基づき平成20年10月に江原道で第1回北東アジア産業技術フォーラムが開催された。ここで、鳥取県と江原道及び吉林省相互間の産業技術発展に寄与できる共同研究開発活動の協力と機会の増進を目指した『産業技術交流協力協定』を鳥取県商工労働部長、江原道産業経済局長、吉林省科学技術庁長の3者により締結した。

＜協定書の概要＞

・各地方政府が選定した下記の優先協力課題について、3地域間の技術連携を推進する。

○生命工学（BIO）、○情報通信（IT）、○電子医療機器、○新素材（Fine Ceramics）、

○人的交流（科学者及び学生）、○各地方政府の研究試験機関間の共同研究事業

(2) 開催実績

○第1回（H20年）江原道春川市 ○第4回（H25年）江原道春川市

○第2回（H23年）吉林省長春市 ○第5回（H27年）吉林省吉林市

○第3回（H24年）鳥取県米子市

とっとりプロジェクト 2016 の開始について

平成28年8月19日
企業支援課

「社内の知恵に加え、全国の生活者が持つ多様なアイデア・視点を取り入れながら、生活者・企業・地域がワクワクするような新商品の開発をしてみたい！」とお考えの県内中小企業を、アイデア創出の面等からバックアップする取組み(鳥取県が全国初の中小企業支援策としてH26年度から開始)を、本年度も実施します。このたび8月8日より、専用コミュニティサイト『とっとり』において今年度参加企業のアイデア募集を開始しました。

記

1. とっとりプロジェクト(=鳥取県ワクワク商品開発支援事業)の目的・概要

人口が全国で最少である本県の地域経済活性化に向けたモデル的な取組みとして、「新商品開発をしたい県内中小企業」と「地域活性化に協力・貢献したい全国の生活者」を結び、全国に先駆け「生活者との共創による新商品づくり」を支援する。

2. 事業の流れ

- (1) 参加する県内企業各社が商品開発等に繋がるテーマ(お題)をそれぞれ設定し、コミュニティサイト『とっとり』上で、全国の生活者からアイデアを順次募集・意見交換。
- (2) 寄せられたアイデアをヒントに、各社が実際の商品開発等を目指して、ワクワクする新商品コンセプト等を策定する。
- (3) 今年度中を目途に、生活者との共創という新しい価値を持つ新商品等を開発し、記者発表の場等を通じて情報発信し、販路開拓に取り組む。

3. 参加する県内企業

	企業名〔所在地〕	会社概要
1	気高電機(株)〔鳥取市〕	炊飯器、調理器などの家電製品製造
2	(株)MY HONEY〔倉吉市〕	ナッツの蜂蜜漬けなどの蜂蜜関連食品の製造・販売
3	日本海観光開発(株)〔大山町〕	大山寺参道で日帰り温泉施設「豪円湯院」を運営等
4	(株)染創〔米子市〕	水木しげるロードでバウムクーヘン等販売店「妖菓堂」を運営等

4. アイデアを募集するお題の例(予定) ※お題は「とっとり」に順次公開していきます。

「水木しげるロードに遊びに行ったらこれだよね!

そう思えるあなたも鬼太郎も欲しくなるおみやげって?」

「あなたの毎日にも蜂蜜を。

どんな蜂蜜を使った商品があったらおもわずあなたも使ってみたくなる?」

5. 専用コミュニティサイト『とっとり』の開設

委託法人の運営する「みんなの企画会議室 Blabo!」サイト上に『とっとり』を開設。

URL ⇒ <http://bla.bo/teams/tottori> (募集期間: 12月末までを予定)

※閲覧はどなたでも可能。なお、アイデア投稿にはサイト上でメールアドレス等の登録が必要。

※投稿したアイデアがベストアイデアに選ばれた方々には、各社からプレゼントあり。

【参考】

上記2(1)(2)については、以下の法人に運営を委託して実施する。

法人名	株式会社 Blabo (ブラボ) 代表取締役 坂田直樹 (東京都品川区)
事業概要	生活者との共創による商品・サービス開発等を支援するためのオンライン共創プラットフォームの開発、プロジェクトの設計・運営等
受託実績	コクヨ S&T、麒麟ビール、森永乳業、ハウス食品、ガリバーインターナショナル、三井不動産、経済産業省、神奈川県 ほか
運営サイト	「みんなの企画会議室」 Blabo! ⇒ http://bla.bo/

鳥取県とロシア沿海地方との友好交流25周年記念事業（経済関係）について

平成28年8月19日
通商物流課
販路拡大・輸出促進課

本年は、鳥取県と沿海地方の「友好交流に関する覚書（1991年10月）」調印25周年となることから、8月5日にウラジオストク市において平井知事がミクルシェフスキー沿海地方知事と会談するとともに、経済、文化、スポーツ等の幅広い交流記念行事を実施しました。

1 ミクルシェフスキー知事と平井知事との会談

- (1) 日時 平成28年8月5日（金）午後5時～6時
- (2) 場所 沿海地方迎賓館（ウラジオストク市）
- (3) ロシア側出席者
ミクルシェフスキー・ウラジーミル沿海地方知事
ゴルチャコフ・ビクトル沿海地方議会議長ほか
- (4) 概要等
3年ぶりにミクルシェフスキー知事と会談し、環日本海定期貨客船の利用促進及び同貨客船を活用した北東アジア地域の物流ルートの確立について協力していくことなど、幅広い分野にわたって今後の交流を発展させるための合意文書に署名した。（別紙のとおり）

2 第2回鳥取県産品レストランフェア

- (1) 期間 平成28年8月4日（木）～11日（木）
- (2) 場所 ウラジオストク市、ナホトカ市、ウスリースク市内のレストラン（22店舗）
- (3) 概要等
 - ・業務用食材の販路拡大のため、本年3月に引き続き、6社8品目の県産食材を利用したメニューを、沿海地方のレストランで一斉に提供した。
（主な品目：ブリ、そばなど）
 - ・新たに同フェアに参加したレストラン関係者（11店舗）に対して、「食のみやこ鳥取県推進サポーター認定証」を平井知事から授与した。
 - ・本県のシェフが、現地のシェフを対象に料理教室を開催し本県食材をPRするとともに、県内の食品製造企業等がレストラン店舗との商談を行った。
- (4) 今後の対応
本年11月にロシア側のレストラン関係者団が来県し、農林水産加工品等の商談や料理教室の開催等を行い、県産品の輸出拡大を図っていく。

3 廃棄物処理に関する経済ミッション派遣

- (1) 期間 平成28年8月3日（水）～6日（土）
- (2) 訪露団員 足立統一郎 環日本海経済活動促進協議会長
三輪陽通 三光株式会社代表取締役社長
- (3) 概要等
 - ・「貿易経済発展の協力協定」（沿海地方貿易投資機関と本県・ジェトロ鳥取が昨年7月締結）、「経済交流に関する覚書」（沿海地方商工会議所と環日本海経済活動促進協議会が本年3月締結）に基づき、沿海地方の「経済プロジェクト」、ロシア国内における廃棄物処理に関する法整備の進展を踏まえ、廃棄物処理分野における両地域間のビジネス創出を目的として実施した。
 - ・沿海地方廃棄物処理関係者との情報交換会では、両地域の行政及び民間企業が、廃棄物の収集、分別及びリサイクル等に関する法制度や処理の現状を相互に説明し、意見交換を行った。沿海地方からは、廃棄物処理団地の計画や蛍光管の収集・処理方法等の紹介があるとともに、本県の下水汚泥処理等のリサイクルに高い関心が示された。
- (4) 今後の対応
本年11月に、廃棄物処理分野の沿海地方代表団を受け入れ、現地視察及び意見交換により一層の理解を深め、具体的なビジネス案件の創出に向け継続して取り組んでいく。



料理教室



廃棄物処理情報交換会

平井日本国鳥取県知事とミクルシェフスキーロシア連邦沿海地方知事との
友好交流に関する会談の議事録

平井知事と鳥取県代表団は沿海地方と鳥取県との友好交流25周年記念事業に参加するため、2016年8月3日から8日までの予定で沿海地方を訪問した。

訪問中に平井鳥取県知事とミクルシェフスキー沿海地方知事との会談は友好的な雰囲気で開催された。双方はお互いに高い関心を持ち、幅広い課題に関して意見交換し、以下のことについて合意した。

- 1 2010年5月5日に締結した「沿海地方と鳥取県との友好交流及び協力に関する協定」を発展させるため、双方は経済、貿易、文化、観光、科学、スポーツなどの交流を様々なレベルで継続的に強化する。
- 2 双方は企業同士の交流を拡大することを目指し、上記の分野における両地域住民の交流が積極的になる環境を作ることを努力する。
- 3 双方は人文交流を拡大し、友好交流の基盤を強化する。
 - (1) 定期的、双方の合意した時期に、様々な分野における青少年交流を実施する。
 - (2) 長期的に文化分野における交流を強化し、共同で文化フェスティバル、展示会などを開催する。
 - (3) 体育とスポーツ分野における交流を強化し、スポーツ代表団を相互に派遣する。
- 4 双方は東海（韓国）—境港（日本）—ウラジオストク（ロシア）を結ぶ環日本海定期貨客船が地域間交流の発展に対して重要であることを認め、それぞれの権限の範囲内で本貨客船によって運ぶ貨物と乗客を増加するために努力する。双方は地域間の貿易の充実のため、中露国境を越えたルート的发展も含めた北東アジア地域における物流網の重要性を認める。
- 5 双方は両地域の経済における沿海地方で実施している計画の重要性を認め、沿海地方における効率的で、環境に優しく、安全な技術を活用した廃棄物処理事業など、日露経済交流の新しい分野の促進のため協力を努める。

6 双方は沿海地方と鳥取県との貿易・経済交流の拡大を目指して、共同で努力し、必要な手段を講じる。

- (1) 商談会及び企業の代表者会談を開催するための支援を行う。
- (2) 展示会、フォーラムなどの大規模な国際事業に互恵的に参加する。
- (3) ビジネスパートナー間の情報交換するためのセミナー、意見交換会などの事業を開催する。

7 双方は、鳥取大学と極東連邦大学、太平洋国立医科大学との医療分野における交流、公立鳥取環境大学とウラジオストク国立経済サービス大学との環境保護分野における交流、教育分野における交流に対して支援を行う。

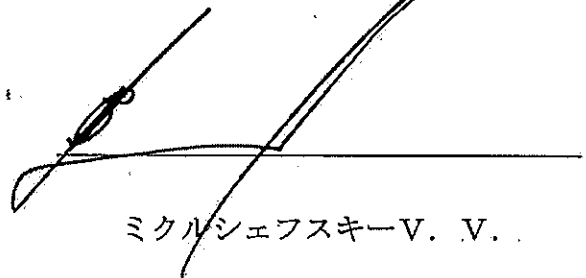
8 本議事録は、日本語とロシア語でそれぞれ作成し、ウラジオストク市で2016年8月5日に調印した。

鳥取県（日本国）代表として

平井伸治

平井伸治

沿海地方（ロシア連邦）代表として



ミクルシェフスキー V. V.

インテリジェントICTセミナーの開催について

平成28年8月19日
雇用人材局労働政策課

情報通信ネットワークや人工知能といったICT分野の急速な進展により、生活・仕事・価値観など人間社会に大きな変化が生じると考えられます。

これを踏まえ、インテリジェントICT(注)がもたらす経済・社会への影響を展望し、製造業、ICTをはじめとする県内企業にとっての課題とその解決に向けたヒントを探るためのセミナーを下記のとおり開催します。

(注) 総務省情報通信政策研究所「インテリジェント化が加速するICTの未来像に関する研究会」において、コンピュータや通信に関する様々な技術の進展によってもたらされる変化を「ICTのインテリジェント化」と、また、そのような能力を発揮する技術やシステムの総体を「インテリジェントICT」と称している。

記

名 称	インテリジェントICTセミナー ～AI(人工知能)・IoT等を活用した未来ビジネス～
日 時	平成28年9月7日(水) 午後1時30分～5時
場 所	ホテルニューオータニ鳥取「鳳凰の間」(鳥取市今町2丁目153)
主 催	鳥取県・鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会
目 的	インテリジェントICTがもたらす経済・社会への影響を展望し、県内事業者が対応していくにあたっての課題及びその解決に向けたヒントを探る
対 象 者	成長3分野(医療機器、自動車、航空機)の製造業、ICT分野の企業、他 ※全100名程度を想定
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶 鳥取県 知事 平井 伸治 2. 来賓挨拶 厚生労働省 職業能力開発局長 宮野 甚一 3. 基調講演 東京大学大学院情報学環・学術情報学府 教授 須藤 修 (総務省情報通信政策研究所「AIネットワーク化検討会議」座長) 「AI(人工知能)がもたらす経済・社会へのインパクト」 4. IoTへの対応の現状、先進的取組の紹介 <ol style="list-style-type: none"> (1) 職業能力開発総合大学校 校長 圓川 隆夫 「IoT時代におけるものづくり」 (2) インテル株式会社 執行役員 技術本部長 土岐 英秋 「IoTの環境とインテルが考える戦略」 (3) 川崎重工業株式会社 航空宇宙カンパニー 生産本部 理事 生産企画部長 酒井 昭仁 「航空機製造の実際とIoT化への取り組み」 5. 鳥取県による取組の紹介 鳥取県 商工労働部長 岡村 整諮 「インテリジェントICTによる生産性向上とそれを担う高度人材の育成」

企業版ふるさと納税の対象事業の決定（平成28年度第1回）について

平成28年8月19日
財源確保推進課
就業支援課

自治体の地域活性化事業に寄附した企業の税負担を軽減する企業版ふるさと納税の第1回の認定事業（8月2日認定）として、本県が国に申請していた「未来人材育成奨学金支援事業」が認定されました。

1 第1回の事業認定状況

(1) 鳥取県分の認定状況

「鳥取県未来人材育成奨学金返還支援事業」が国の認定を受けました。

※事業の概要

県と産業界が協力して基金を設置し、県内に就職する大学生等の奨学金返還を助成し、IJUターン並びに産業人材の確保を促進するもの。

- 本事業については、事業の趣旨にご賛同をいただき、以下の4社から寄附の内諾が得られています。

- ・ (株) 不二家システムセンター
- ・ 山陰合同銀行(株)
- ・ サントリープロダクツ(株)
- ・ (株) インフォメーション・ディベロプメント

【参考1】

県内市町村分の認定状況

江府町の1事業（「遊休農地を活かした6次産業化推進事業」）が認定されました。

※事業の概要

基幹産業の農業の高齢化・後継者不足、遊休農地や荒廃農地等の課題に対応するため、既存の地域農業である玄そばの生産振興に加え、6次産業化による高付加価値化に取り組み、雇用の創出等、地域産業の活性化を図る。

【参考2】

全国の認定状況

県と市町村分を合わせて102件（県：10事業、市町村：92事業）が認定されました。

2 今後の取組について

引き続き、積極的に企業に訪問して寄附の依頼を行ってまいります。

【参考3】

企業版ふるさと納税について

平成28年度から自治体の地方創生事業へ寄附をした企業の税負担の軽減効果が従来の2倍とする制度が新設された。(寄附額の3割⇒6割)

○対象は地方版総合戦略に位置付けられ、地方創生を推進する上で効果の高い取組について、地域再生法に基づく地域再生計画を策定し、国の認定を受けた事業。

- ・既に着手済の事業については対象外
- ・申請時点において、1社以上の寄附を行う法人の見込みがたっている必要がある
- ・国の補助金や交付金の対象となる事業の地方負担分に寄附の充当はできない
- ・既存事業を単に振り替えるようなことはできない

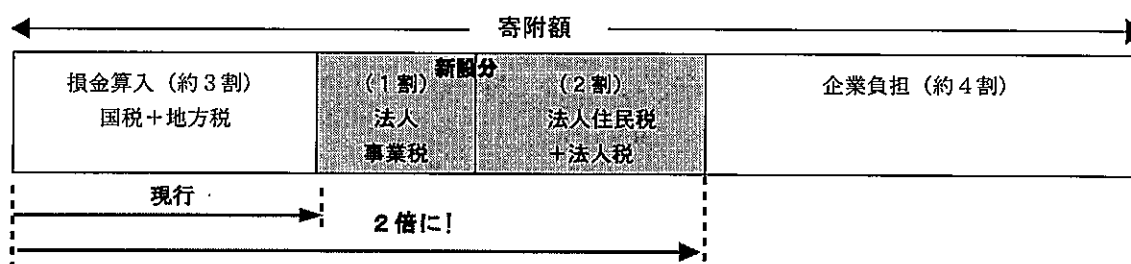
○企業の本社が所在する自治体等への寄附は対象外。

○寄附額10万円から対象。

○地方公共団体は、寄附を行う企業に対し、寄附の代償として経済的利益を与える行為を行ってはならない。

[税制措置のイメージ]

例) 100万円寄附すると、法人関係税において約60万円の税が軽減



[認定手続き]

